

船舶事故調査報告書

令和2年9月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和2年4月30日 11時00分ごろ
発生場所	沖縄県 ^{もとぶ} 本部町 ^{せそこ} 瀬底島南方沖 渡久地 ^{とぐち} 港本部防波堤灯台から真方位220° 1.3海里付近 (概位 北緯26°37.4′ 東経127°51.6′)
事故の概要	プレジャーヨット ^{ボーイ} BOYは、航行中、干出浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和2年5月1日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーヨット BOY、5トン未満（長さ8.11m）
船舶番号、船舶所有者等	270-17377山口、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	センターキールに擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約3m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、瀬底島南方沖を機帆走により南東進中、干出浜に乗り揚げた。 船長は、沖縄県沖縄島周辺の海域を航行するのが初めてであり、瀬底島南方沖まで干出浜が拵延しているとは知らず、陸岸から離れていれば問題ないと思い、同島の南端寄りを航行した。 本船の喫水は、センターキール下端まで約2.0mであった。
分析	本船は、南東進中、船長が、瀬底島南方沖まで干出浜が拵延しているとは知らず、陸岸から離れていれば問題ないと思い、同島の南端寄りを航行したことから、干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が南東進中、船長が、瀬底島南方沖まで干出浜が拵延しているとは知らず、陸岸から離れていれば問題ないと思い、同島の南端寄りを航行したため、干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・初めて航行する海域は、事前に詳細な水路調査及び潮位等の海象情報の収集を行うこと。